iFP-800 Series

www.iriver.co.jp

(2004.11)

ハードウェア取扱説明書

Digital Audio player/ Recorder/FM Tuner Model iFP-800 Series

お買い上げありがとうございます。
ご利用前に本取扱説明書をよくお読みください。

www.iriver.co.jp

目次

注 意 **本説明書では、IFPプレーヤに付属のソフトウェアの、インストール方法と使用方法について説明しています。音楽をプレーヤに転送する方法など、ソフトウェアの機能の詳細については、ソフトウェア取扱説明書を参照してください。**

FCC認証

本機はFCC規則第15部に準拠しています。動作は以下の条件の対象となります。（1）本機は（他の通信設備に対して）電波障害となりうるような操作を行ってはならない。かつ（2）本機は（本機にとって）望ましくない動作を生じえる、他の通信設備からの干渉を受容しなければならない。

注意：この機器は試験の結果FCC規則第15部に従って、クラスBデジタル機器の制限に準拠すると裁定されました。この制限は家庭設置における有害な干渉に対し十分な保護を提供するために設けられたものです。この機器は無線周波数エネルギーを発生し利用し放出しますが、指示通りに設置されかつ使用されなかった場合には無線通信に有害な干渉を生ずることがあります。しかし、特定の設置で干渉を発生しない保証はありません。この機器が万一ラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じた場合、利用者は本機をON/OFFすることによりこれを識別することができ、以下の手段の1つまたは複数により干渉を修正することを推奨します。

- 受信アンテナを再調整するまたは設置場所を変更する。
- 本機と受信機の分離を増進する。
- 受信機が接続されている端子と異なる回路の端子に本機を接続する。
- 販売店または実績あるラジオ/テレビ技能者に相談する。

注意：本機の許可されない改造から生じるラジオやテレビへの干渉について製造業者は責任がありません。このような改造は本機を運用するユーザーの権利を無効にします。

目次

注意 本説明書では、IFPプレーヤに付属のソフトウェアの、インストール方法と使用方法について説明しています。音楽をプレーヤに転送する方法など、ソフトウェアの機能の詳細については、ソフトウェア取扱説明書を参照してください。

インターネット

- URL : www.iriver.co.jp
- 弊社や各製品について、またはお客さま・技術サポートについて最新情報がご覧いただけます。
- ファームウェアのダウンロードによりプレーヤを更新します。ファームウェア更新により新しいコーデックへのサポートが可能です。
- サポートコーナーではお客さまから頻繁にいただくご質問に対する解答が「よくある質問」に掲載されています。
- 効率よいサポートをさせていただくために、iriver製品のオンライン登録をお勧めします。
- 本説明書に記載された内容は、本製品の機能向上や仕様変更により予告なしに変更されることがあります。

特長

- **マルチコーデックプレーヤ**
  MP3、WMA、OGG、ASFフォーマットをサポート。
- **ファームウェアアップグレード**
  弊社ホームページにて最新ファームウェアを提供。
- **多言語サポート**
  iFP-800シリーズは多言語表示が可能（40言語）。
- **FM機能**
  オートプリセットや周波数メモリ機能により、お気に入りのFM局の設定が可能。
- **6つのEQ設定：**ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、Uバス、メタル
- **XtremeEQとXtreme 3D**
  XtremeEQによってご自分のEQをカスタマイズでき、Xtreme 3Dによってバスサウンドとサラウンドサウンドを向上させることができます。
- **GUI（グラフィック・ユーザー・インターフェース）メニューシステム**
- **簡単な曲検索**
  簡単な操作で曲を探すことができます。
- **最大8階層のサブフォルダでトータルのフォルダ数500、ファイル数1500を同時サポート**
- **ユーザー作成再生リスト**
- **ダイレクト・エンコーディング（録音）**
  サンプリング周波数11.025KHz～44.1KHz、ビットレート8Kbps～320Kbps
- **FM放送、音声、他の機器のライン入力を録音**
  音声録音レベルはAGC機能で自動制御。
- **使いやすいネックストラップ**
- **USB 2.0をサポート**(iFP-880はUSB 1.1まで)

電池の挿入

1 **電池カバーを開けます。**

2 **電池(単三1.5Vx1)を入れます。**
図のように、電池と電池ボックス内の+側と-側とを合わせてください。

3 **電池カバーを閉じます。**

※電池が消耗し、[Low Battery]とLCDに表示されたときは、新しい電池を入れてください。

注 意

- 液漏れを防ぐため、プレーヤを長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 液漏れによる損傷を防ぐため、消耗した電池はただちに取り出してください。
- 液漏れが生じたときは、ただちに乾いた布で電池ボックスを拭いてから、新しい電池を入れてください。

目 次

注 意 **本説明書では、IFPプレーヤに付属のソフトウェアの、インストール方法と使用方法について説明しています。音楽をプレーヤに転送する方法など、ソフトウェアの機能の詳細については、ソフトウェア取扱説明書を参照してください。**

前面

▶▶| (次のトラック(曲)/早送り)
MIC
LCD画面
VOL (音量)+
イヤフォン
NAVI/MENU
VOL (音量)−
|◀◀ (前のトラック(曲)/巻き戻し)
004 02:04
iRiver
Entertainment
DIRECT ENCODING
NAVI • MENU • VOL

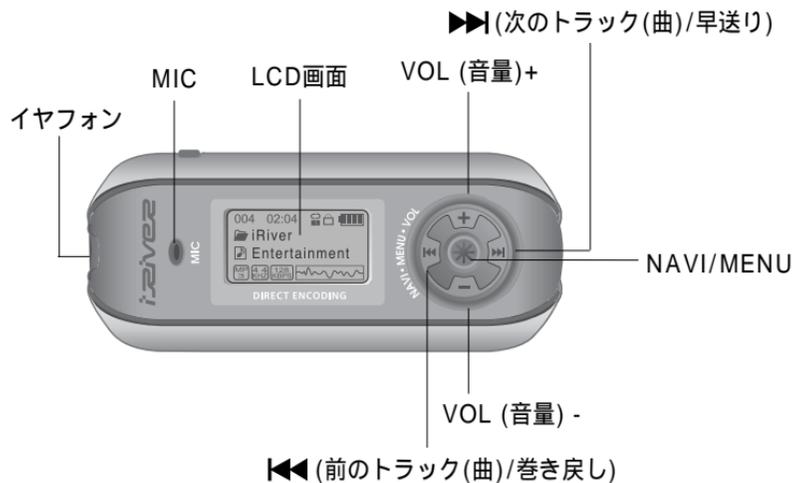
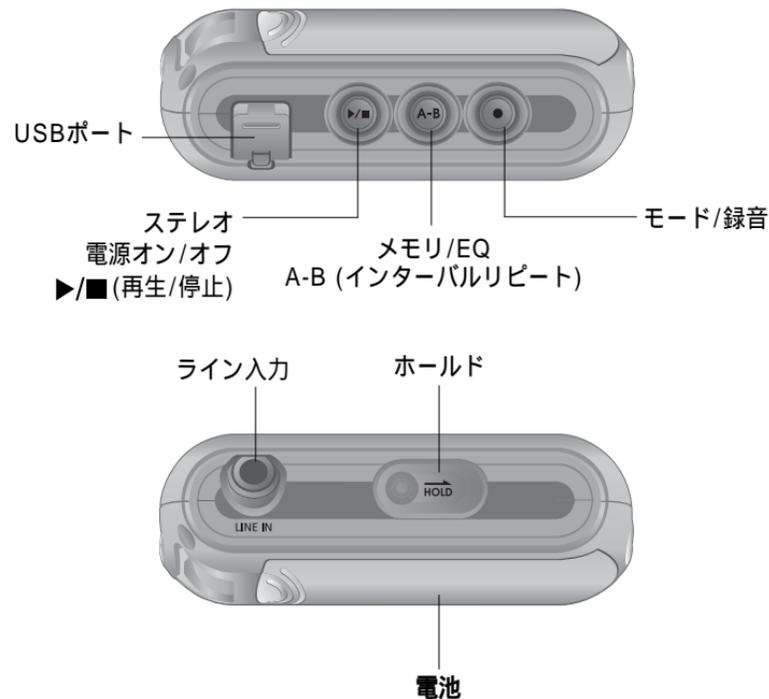
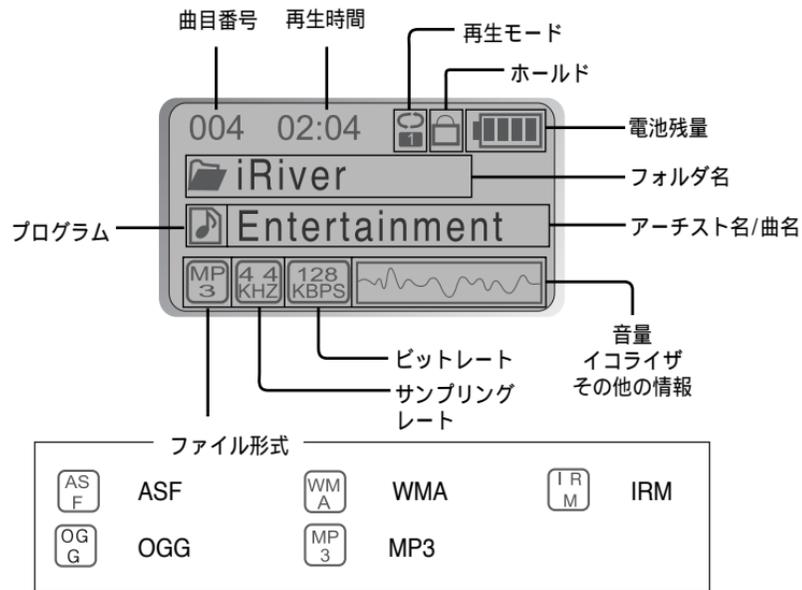
側面

USBポート
ステレオ
電源オン/オフ
▶/■ (再生/停止)
メモリ/EQ
A-B (インターバルリピート)
モード/録音
A-B

ライン入力
ホールド
LINE IN
HOLD
電池

各部の名称

LCD画面

目 次

注 意 ここでは、WINDOWS OSを使用している場合のインストール方法について説明しています。MAC OS使用時のインストール方法は、ソフトウェア取扱説明書を参照してください。

注 意 本説明書では、IFPプレーヤに付属のソフトウェアの、インストール方法と使用方法について説明しています。音楽をプレーヤに転送する方法など、ソフトウェアの機能の詳細については、ソフトウェア取扱説明書を参照してください。

ソフトウェアのインストール

重 要 この項の手順を実行した後で、プレーヤをお手持ちのPCに接続してください。

- お持ちのPCのCD-ROMドライブにインストールCDを挿入します。
  CDを挿入すると以下の画面が出ます。

- インストールが自動的に開始しないときは、インストールCD内の[setup.exe] ファイルを実行します。
  インストールプログラムが開始します。
- インストールCDには以下が含まれています。
  - デバイスドライバ
  - iriver Music Manager
  - Manager Program for Mac

- 本製品はMP3ファイルや様々な形式のファイルを保存できます。
  iriver Music Managerプログラムを使ってPCに音楽形式（MP3、WMA、OGG、ASF）以外のファイルを転送できます。
- www.iriver.co.jpから最新のドライバとiriver Music Managerのアップデーターをダウンロードできます。
- Windows 2000、XPのOSを使用している方はアドミニストレータレベル（管理者レベル）でログインし、iriver Music Managerをインストールしてください。

注 意 **システム要件(Windows)**

- Pentium 133MHz以上
- USBポート
- Window 98SE / ME / 2000 / XP
- CD-ROMドライブ
- ハードディスクの空きスペース10MB

ソフトウェアのインストール

注 意 ソフトウェアが最新バージョンになっている場合は、インストール画面がここに示したものとは若干異なる可能性があります。

1 お持ちのPCのCD-ROMドライブにインストールCDを挿入します。自動的にインストールが開始されます。

2 インストールする言語を選択して［次へ］をクリックします。

3 ［次へ］をクリックしてiriver Music Managerのインストールを開始します。

4 インストールするフォルダを選択し、［次へ］をクリックします。

PCソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール

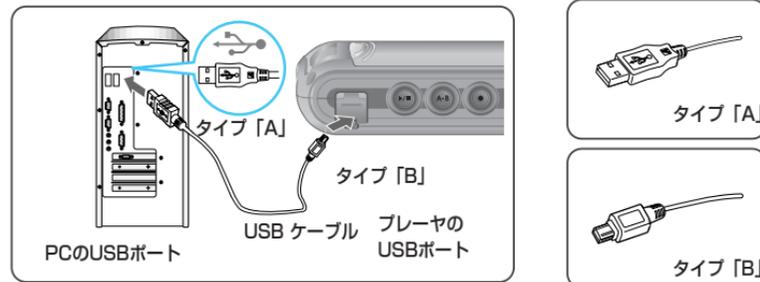
5 インストールフォルダを確認したら[次へ]をクリックします。

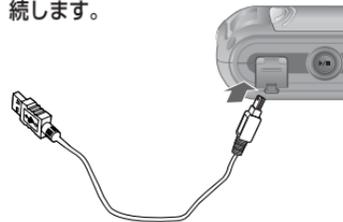
6 [インストール]をクリックしてインストールを開始します。

7 インストールが進行します。
インストールが完了したら[完了]をクリックします。

プレーヤの接続

PCへの接続

1 付属のUSBケーブルをコンピュータのUSBポートに接続します。

2 「STEREO」ボタンを押してプレーヤの電源を入れます。プレーヤのUSBポートの保護カバーを開け、USBケーブルを接続します。

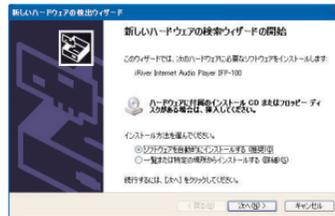
3 [USB CONNECTED]というメッセージがプレーヤのLCD画面に表示されます。

注意
- エラーを避けるため再生が終了してからUSBケーブルを接続してください。
- iFP-880ではUSBバージョン1.1(フルスピード)を、iFP-890/ 895/ 899ではUSBバージョン2.0(ハイスピード)をサポートしています。

PCソフトウェアのインストール

新しいハードウェアのインストール

1 CDからiRiver Music Managerをインストール後、PCにプレーヤを接続すると、[新しいハードウェアが見つかりました]画面が表示されます。

2 [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]を選択し、[次へ] をクリックします。

3 コンピュータが自動的に新しいハードウェアの検索を開始します。

4 [ハードウェアのインストール]警告メッセージが表示されたら、[続行] をクリックします。(Windows XP)
iRiverソフトウェアがコンピュータに悪影響を及ぼすことはありません。

プレーヤの接続

新しいハードウェアのインストール

5 インストールが続行されます。

6 [完了] をクリックします。
[新しいハードウェア]のインストールが完了しました。

7 新しいハードウェアが正常にインストールされ、使用可能な状態になったことを知らせる情報画面が表示されます。

- Windows 98SE、MEおよび2000では、これ以外にドライバをインストールする必要はありません。
- 新しいハードウェアのインストールは、iRiver Music Managerプログラムのインストール後に行います。

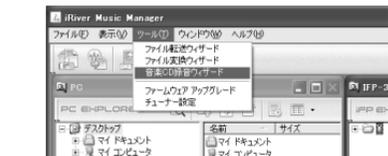
PCソフトウェアのインストール

OGGファイルへ変換する

プレーヤに転送する音楽ファイルをPCで作成します。OGG形式に変換するには「iriver Music Manager」を使用します。（詳しい使い方は「ソフトウェア取扱説明書」を参照してください。）プレーヤとPCが接続された状態で行ってください。

1 PCのCD-ROMドライブに音楽CDを入れます。

「iriver Music Manager」を起動します。（スタート→全てのプログラム→iriver→Music Manager→iriver Music Manager）

2 「ツール」メニューから「音楽CD録音ウィザード」を選択します。

3 画面に従って、「次へ」をクリックしながら進みます。

・CDが入っているドライブを選ぶ
・音楽CDの情報を入れる
・変換する曲を選別する
・出力フォルダを作成する/音質選択をする

4 「音質選択」で[ABR, Q4:128Kbps]に設定します。
※この設定でも[Not Supported]と画面に表示されて再生できない場合は、[ABR, Q5 :160Kbps]に設定してください。

5 ファイルの変換が進行します。

●OGGファイルをプレーヤに転送するには、3-10ページに進んでください。

WMAファイルへ変換する

WMA形式にはWindows OSに標準インストールされている「Windows Media Player」で変換します。（ここでは、Windows Media Player Ver.9を使用しています。）

1 PCのCD-ROMドライブに音楽CDを入れます。

「Windows Media Player」を起動します。（スタート→全てのプログラム→Windows Media Player）

3 「音楽の録音」タブの設定画面では、「録音した音楽を格納する場所」や、音質（ビットレート）の設定することができます。

重要 ●音質は128Kbps以下で設定してください。

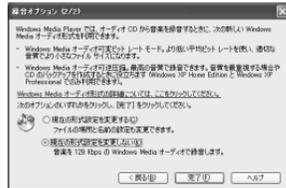
2 「ツール」メニューから「オプション」を選択し、「音楽の録音」タブの「保護された音楽を録音する」のチェックを外します。

4 「CDから録音」をクリックします。インターネットから曲名、アーティスト名などのアルバム情報が自動で取込まれます。

音楽CDからファイルを作成する

WMAファイルへ変換する

5 「音楽の録音」をクリックします。

●初めて録音をする時には以下のような画面が表示されます。下図のようにチェックを入れてください。

6 録音が進行します。

重要

- Windows Media Player Ver.7の場合は、「ツール」メニューのオプションを選択し、「CDオーディオ」タブの「個人用の著作権管理を有効にする」のチェックを外してください。
- Windows Media Player Ver.8の場合は、「ツール」メニューのオプションを選択し、「音楽のコピー」タブの「コンテンツを保護する」のチェックを外してください。

プレーヤに音楽ファイルを転送する

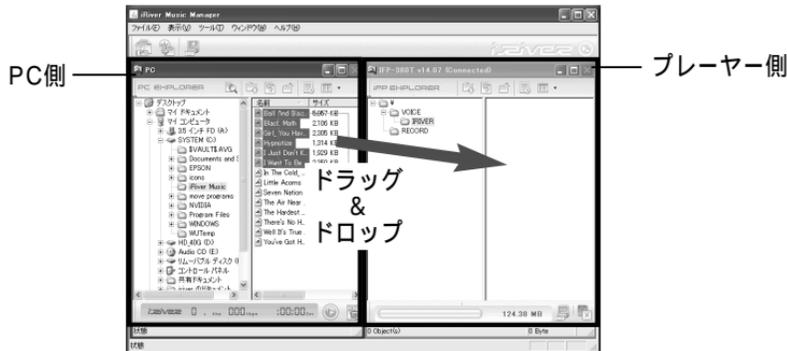
プレーヤに音楽ファイルを転送する

PCにある音楽ファイルをプレーヤーに転送します。iriver Music Managerを使用します。

1 付属のUSBケーブルでPCとプレーヤーを接続し、iriver Music Managerを起動します。(スタート→全てのプログラム→iriver→Music Manager→iriver Music Manager)

2 PCの音楽ファイル（OGG、WMA、MP3）が格納されているフォルダを開きます。

3 プレーヤーに転送するフォルダ、またはファイルを選び、右のプレーヤー側にドラッグ＆ドロップします。

4 ファイルの転送が進行し、プレーヤが側にファイルやフォルダが追加されます。

プレーヤをPCから安全に切断するには

1 タスクトレイの[ハードウェアの安全な取り外し]アイコン をクリックします。

2 [iriver Internet Audio Player IFP-800を安全に取り外します]をクリックします。

3 [ハードウェアの取り外し]メッセージを確認し、USBケーブルを取り外します。

注意

- Windows 2000の場合
  タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンをクリックし、[iriver Internet Audio Player IFP-800を停止します]を選択します。[ハードウェアの取り外し]ウィンドウを確認し、[OK]をクリックします。
- Windows 98SE、MEの場合
  アイコンは表示されません。そのままPCから切断します。

※正しく切断しないと、プレーヤが故障したり損傷する場合があります。

目次

音楽を聞く

●以下のようにイヤフォンを接続します。

●HOLDスイッチを「OFF」にします。

OFF

●「PLAY/STOP」ボタンを押してプレーヤをオンにします。もう一度押すと再生が開始されます。

●曲を選択する。
⏮ : 前の曲を選択します
⏭ : 次の曲を選択します

●ボリュームの調整
+ : ボリュームを上げる
- : ボリュームを下げる

注 意

- 「HOLD」が「ON」のとき、プレーヤのボタンは機能しません。
- 停止状態にあるときや録音スタンバイモードの時、プレーヤはメニューの「STOP POWER OFF」設定に従って自動的に電源が切れます。(5-17ページを参照してください)

●プレーヤの電源を入れます

●再生します

●モードを変更します (MP3 → FM → 音声録音→ ライン入力)

●停止します

●次の曲に進めます

●前の曲に戻ります

●次のフォルダを演奏します

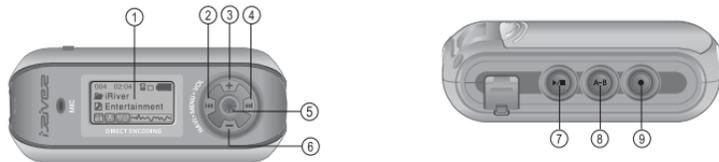
●前のフォルダを演奏します

●早送りします

●巻き戻しします

●プレーヤの電源を切ります

基本操作

基本操作

1. LCD ウィンドウ: プレーヤの動作ステータスを表示
2. 前のトラック(曲)または前のFM局へスキップ
3. ボリュームを上げる
4. 次の曲または次のFM局へスキップ
5. NAVI/MENU機能の選択
6. ボリュームを下げる
7. 再生と停止、FMモードの選択、電源オン/オフ
8. EQモードの選択、A-Bリピート、FM局の自動保存
   NORMAL → ROCK → JAZZ → CLASSIC → U BASS → METAL → Xtrm EQ → Xtrm 3D
9. 再生モード、録音スタートおよび停止

ナビゲーション

メニュー

機能の変更

「MODE」ボタンを長押しして現在の機能を表示します。「NAVI/MENU」ボタンの⏮ 側または ⏭ を押し、必要な機能のところで「NAVI/MENU」ボタンをクリックします。

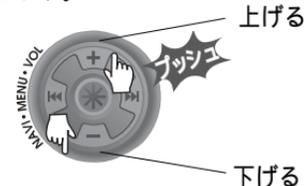
● MP3再生 ⇔ FM録音 ⇔ 音声録音 ⇔ ライン入力録音

FMチューナーモードの選択

ステレオ/モノラルを選択するには「STEREO」ボタンを押します。

(4-8ページを参照してください)

ボリュームの調整

ボリュームを上げるにはボリュームボタンの+側を、下げるには-側を押します。

ナビゲーション

「NAVI/MENU」ボタンを押し、「VOL +」ボタンまたは「VOL -」ボタンを押して聞きたい曲を探します。曲を選ぶには、「NAVI/MENU」、▶▶| 、 (STEREO) のいずれかのボタンを押します。

上の階層のフォルダに移るときには |◀◀ スイッチを押します。
上の階層にフォルダがないときはナビゲーションが止まります。

モード

MP3の再生中に、「MODE/REC」ボタンをクリックしてゆくと、再生モードを選択できます。

リピート再生	1	D	D	A	
シャッフル再生	SFL	SFL 1	SFL D	SFL DA	SFL A
イントロ再生	I				

「MODE/REC」ボタンを長押しします。MP3/FM/音声/ライン入力による録音が選択できます。(MP3を選択すると自動的に再生モードに入ります)

メニュー

「NAVI/MENU」ボタンを長押しすると、一連のメニューが表示されます。

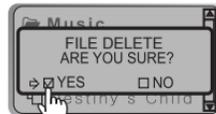
(1) メニューからメニューへの移動：|◀◀ または ▶▶|を押します。
(2) 機能の選択：「NAVI/MENU」ボタンを押します。
(3) 終了:「PLAY/STOP」ボタンをクリックします(または「NAVI/MENU」ボタンを長押しします)。

プレーヤ内のファイルを消去する

1 再生を停止します。

2 「NAVI/MENU」ボタンを押します。

3 VOL+またはVOL-で消去するファイルを選択します。

4 「MODE」ボタンをクリックします。
[FILE DELETE ARE YOU SURE?]というメッセージが画面に表示されます。
|◀◀または▶▶|(VOL +またはVOL -)で[YES]を選択し、「NAVI/MENU」ボタンを押します。

プレーヤ内のフォルダを消去する

1 再生を停止します。

2 「NAVI/MENU」ボタンを押します。

3 消去するフォルダを選びます。

4 「MODE」ボタンをクリックします。
[FOLDER DELETE ARE YOU SURE?]というメッセージが画面に表示されます。
|◀◀または▶▶|(VOL +またはVOL -)で[YES]を選択し、「NAVI/MENU」ボタンを押します。

注意 消去できるのは空のフォルダのみです。

FMチューナーの操作

1 **FMチューナーに切り替えるには、「MODE/REC」ボタンを長押しします。**
現在の機能が表示されます。

LCD画面のグラフィック表示機能選択

2 **⏮、⏭ スイッチを押してFMラジオを選択します。「NAVI/MENU」ボタンを押して確定します。**

3 **「NAVI/MENU」スイッチを、⏮側または⏭側に押して、お好みの放送局を選択します。**

(例： 87.5 → 87.6)

FMチューナーの操作

ステレオ/モノラルを選択するには

- 「STEREO/PLAY/STOP」ボタンを押してステレオ/モノラルを選択します。

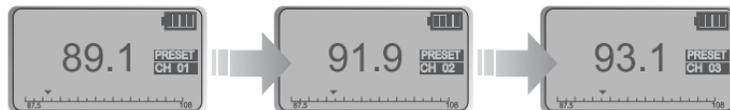
オートスキャン機能

放送局を自動受信するには、「NAVI/MENU」ボタンの右側または左側を長押しします。
各周波数が数秒ずつスキャンされ、長押しを止めた後に受信した放送局のところでスキャンが止まります。

または

プリセットモード

メモリに保存した局を選択するには、「NAVI/MENU」ボタンを押してPRESETモードにし、⏮または ⏭スイッチを押して局を探します。

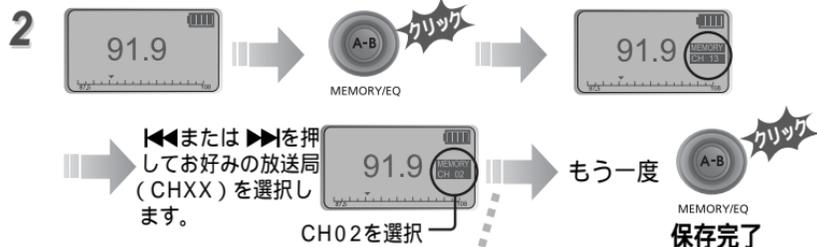
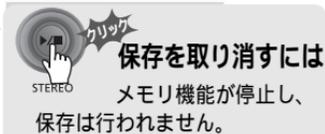
(例： 89.1→ 91.9 → 93.1)

メモリ機能（放送局の保存）

1 プリセットモードが解除されている状態で ⏮スイッチまたは ⏭スイッチを押して放送局を選択します。

2

91.9 → クリック MEMORY/EQ → 91.9 MEMORY CH 13

→ ⏮または ⏭を押してお好みの放送局（CHXX）を選択します。 91.9 MEMORY CH 02 CH02を選択 → もう一度 クリック MEMORY/EQ **保存完了**

クリック STEREO **保存を取り消すには** メモリ機能が停止し、保存は行われません。

3 最大20局まで保存できます。

オートメモリ機能

「A/B MEMORY」ボタンを長押しします。放送局が周波数順に自動的に選択されて保存されます。
（プレーヤがプリセットモードでないときに作動します）

●電波の弱い地域ではオートメモリが機能しないことがあります。

メモリ削除機能（保存した放送局の削除）

1 プリセットモードで削除する局を選択します。

2 「MEMORY」ボタンを長押しします。

- チャンネル削除が完了すると次の局が表示されます。
  次のチャンネルも削除したいときは「MEMORY」ボタンを長押します。

注 意

◆ FMチューナー受信は地域により異なります。
◆ プリセットモードでは、オートスキャンとオートメモリの機能は使用できません。
◆ プレーヤにチャンネル設定がないときは、プリセットモードで[EMPTY]が表示された後に消えます。

プレーヤの電源を切るには

「PLAY/STOP」ボタンを長押ししてプレーヤの電源を切ります。

FMを録音する

FM受信中に「MODE/REC」ボタンを押します。受信中の放送が録音され、画面に録音経過時間が表示されます。

FM録音を一時停止する

▶/■ ボタンを押します。もう１度 ▶/■ ボタンを押すと録音が再開します。

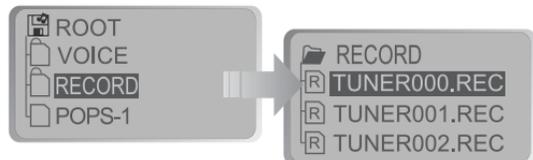
一時停止中は点滅します

注 意 ●音質の初期設定は「STEREO、32KHz、128Kbps」となっています。変更する場合は、次のページの[音質の設定]をご覧ください。

FM録音を停止する

「MODE/REC」ボタンを押して録音を停止します。

録音したファイルが、[TUNER000.REC]という名称で[RECORD]フォルダに保存されます。

基本操作

録音したファイルを再生する

MP3モードを選択してから、録音したファイルを選び､「PLAY/STOP」ボタンを押すと再生が始まります。

注 意

- 録音中はボリュームの調節はできません。
- 録音したRECファイルをMP3ファイルに変換するには、iriver Music Managerを使用します。(iriver Music Managerソフトウェア取扱説明書を参照してください)
- 録音したファイル「REC」ファイルの再生時には、リジューム機能(5-12ページ参照)、リピート再生モード(4-5ページ参照)は使用できません。

音質の設定

1 「NAVI/MENU」を長押しして、設定メニューを開き、⏭ スイッチを押して、[Control]を選択します。

2 [－」スイッチを押して[TUNER RECORDING MODE]を選択します。

3 お好みの音質に設定します。

前の画面に戻るには ▶/■ ボタンを押します。

基本操作

音声の録音

1 「MODE/REC」ボタンを長押ししてモードメニューを開きます。

2 ⏮ または ⏭ スイッチを押して、[VOICE]モードを選択します。

3 「NAVI/MENU」ボタン（または ▶/■ ボタン）を押して音声録音(スタンバイ)モードに入ります。

4 もう一度「MODE/REC」ボタンを押すと音声録音が開始します。

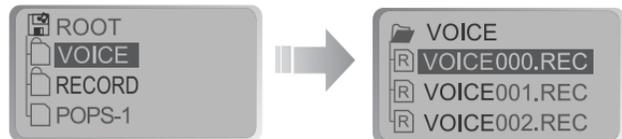
注 意 ●音質の初期設定は「32KHz、32Kbps」となっています。変更する場合は、[音声録音の設定]をご覧ください。

録音を一時停止する

録音中に ▶/■ ボタンを押します。
録音を再開するにはもう一度 ▶/■ ボタンを押します。

注 意 ● 一時停止の場合は新しい音声ファイルは作成されず、その時点の音声ファイルに録音内容が追加されます。

録音を停止する

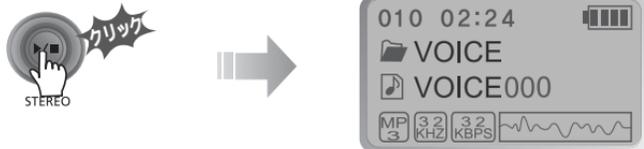
「MODE/REC」ボタンを押します。録音したファイルが、[VOICE000.REC]という名称で[VOICE]フォルダに保存されます。

注 意 ● 録音を停止し、再開した場合は新しい音声ファイルが作成されます。

録音したファイルを再生する[1]

録音を停止した直後、録音したファイルを再生するには、▶/■ ボタンを押します。

録音したファイルを再生する[2]

1 任意の録音ファイルを選択して再生するには、「NAVI/MENU」ボタンを押してから、「+」または「−」スイッチで録音ファイルを選択します。

2 ▶/■ ボタンを押します。

注 意

- LCD画面に[00:00:00] の表示が出るときはプレーヤのメモリが一杯です。ファイルやフォルダを削除して空きスペースを作って録音して下さい。
  (削除方法はページ4-6)
- メモリが一杯の場合や、電池残量が少ない場合は録音できません。
- 録音の歪みをさけるためプレーヤを音源に近づけすぎないでください。
- 録音したRECファイルをMP3ファイルに変換するにはiriver Music Managerを使用します。
  (iriver Music Managerソフトウェア取扱説明書の4-32〜4-34ページを参照してください)

録音 - 音声

音声録音の設定

設定メニューを開く

1 「NAVI/MENU」を長押しして、設定メニューを開き、⏭ スイッチを押して、[Control]を選択します。

2 [−」スイッチを押して[VOICE RECORDING MODE]を選択します。

AGC機能設定する

3 AGC機能をオンにするには、「NAVI/MENU」ボタンを押して[AGC ON]を選択します。

AGC機能とは...

音源のレベルを察知して自動的に録音レベルを調整する機能です。遠く離れた音源をよりクリアにキャッチすることが可能で、講議など遠く離れた講師の声を録音する場合に有効です。

基本操作

音声録音の設定

サンプリングレートを設定する

4 サンプリングレートを変更するには、⏮ または⏭ スイッチを押します。

サンプリングレートとは...
音声出力の周波数で、高い周波数ほど高音質となります。例えばCDは44.1MHzとなっています。通常音声録音の場合は32KHz程度が最適といえます。

ビットレートを設定する

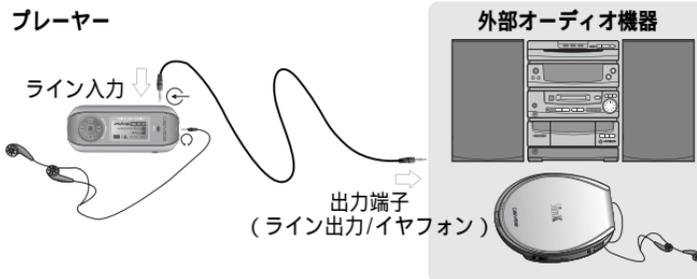
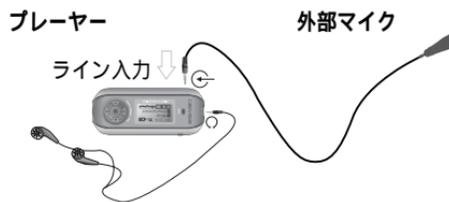
5 ビットレートを変更するには、「－」スイッチを押して、ビットレートの項目に移動します。次に、⏮ または⏭ スイッチを押して、値を変更します。

ビットレートとは...
１秒あたりどれだけのデータ量を使うかを意味します。高いビットレートほど高音質となります。通常音声録音の場合は32KBPS程度で良いでしょう。

注意 ● ▶/■ ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

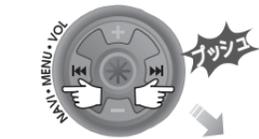
外部オーディオ機器/外部マイクを接続する

1 プレーヤーと外部オーディオ機器、または外部マイクを接続します。

外部オーディオ機器の場合

外部マイクの場合

注意 ケーブルは、外部オーディオ機器/外部マイクの出力端子の形状の合うものをご用意ください。

[LINE IN]モードを選択する

1 「MODE/REC」ボタンを長押ししてモードメニューを開きます。

2 ⏮ または⏭ スイッチを押して、[LINE-IN]モードを選択します。

3 「NAVI/MENU」ボタン（または ▶/■ ボタン）を押してLINE-IN録音（スタンバイ)モードに入ります。

設定メニューを開く

1 「NAVI/MENU」ボタンを長押しして、設定メニューを開きます。

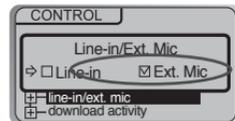
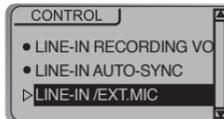
2 ⏮ または⏭ スイッチを押して、[Control]を選択します。

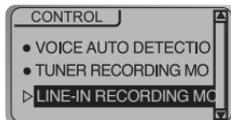
外部マイク使用時の設定

外部マイク使用時にはこの設定を行ってください。

1 「+」または「−」スイッチを押して、[LINE-IN/EXT.MIC]を選択します。

2 ⏮ または⏭ スイッチを押して、[Ext.Mic]を選択します

基本操作

音質の設定

1 「＋」または「－」スイッチを押して、[LINE IN RECORDING MODE]を選択します。

2 「NAVI/MENU」ボタンを押してステレオ/モノラルを選択します。

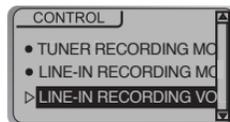
3 ⏮ または ⏭ スイッチを押してサンプリングレートの値を44.1KHzにします。

4 「－」スイッチを押して、下のビットレートの項目に移動します。
⏮ または ⏭ スイッチを押して、ビットレートの値を128KBPSにします。

▶/■ ボタンを押して、前のメニューに戻ります。

注意 ●ビットレートやサンプリングレートは目的に合せて調節してください。

入力ボリュームの設定

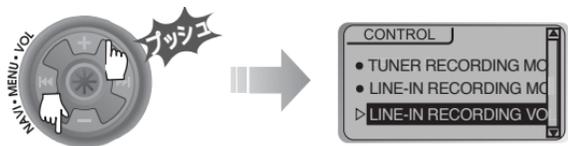
1 「＋」または「－」スイッチを押して、[LINE IN RECORDING VOLUME]を選択します。

2 ⏮ または ⏭ スイッチを押して、入力ボリュームを設定します。

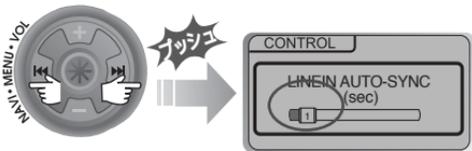
▶/■ ボタンを押して、
前のメニューに戻ります。

注意

● 入力ボリュームは外部オーディオ機器から出力されるボリュームに合せて調節してください。
例えば、外部オーディオから出力されるボリュームが小さい場合は、入力ボリュームを上げます。

曲単位で区切る設定 (Auto Sync機能)

1 「+」または「–」スイッチを押して、[LINE-IN AUTO SYNC]を選択します。

2 ⏮ または⏭ スイッチを押して、1秒に設定します。

3 ▶/■ ボタンを続けて押して、録音スタンバイ状態画面まで戻ります。

注意

- [Line-In Auto Sync]設定では、設定した秒間無音状態が続くと、録音を終了し、次の音の開始から新たなファイルに録音を開始します。
- 曲単位でうまく区切れない場合は、秒数の設定を調節してください。
- 外部マイク使用時にはAuto Syncは機能しません。

録音を開始する

1 「MODE/REC」ボタンを押すと、LINE-IN録音が開始します。

2 外部オーディオ機器から録音する場合は、外部オーディオ機器の再生ボタンを押して再生を開始します。

外部オーディオ機器を再生

録音を一時停止する

▶/■ ボタンを押します。もう1度 ▶/■ ボタンを押すと録音が再開します。

一時停止中は点滅します

録音を停止する

「MODE/REC」ボタンを押します。

基本操作

注 意

- 録音したファイルには、順番に外部オーディオ機器の場合は[AUDIO000.REC]、[AUDIO001.REC]と続く名前が付けられ、[RECORD] フォルダに保存されます。
- 外部マイクを使用して録音されたファイルは[EXMIC000.REC] として保存されます。
- 録音したファイル「.REC」ファイルの再生時には、リジューム機能(5-12ページ参照)、リピート再生モード(4-5ページ参照)は使用できません。

録音したファイルを再生する[1]

録音を停止した直後、録音したファイルを再生するには、▶/■ ボタンを押します。

録音したファイルを再生する[2]

1 任意の録音ファイルを選択して再生するには、「NAVI/MENU」ボタンを押してから、「+」または「−」スイッチで録音ファイルを選択します。

2 ▶/■ ボタンを押します。

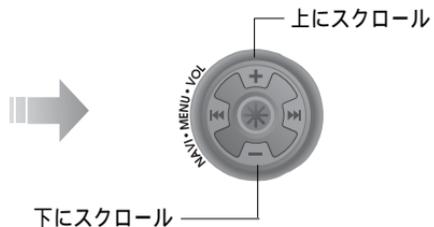
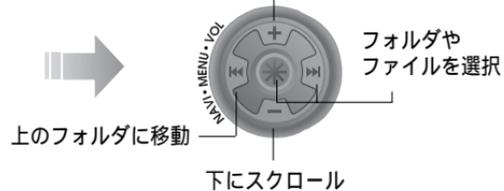
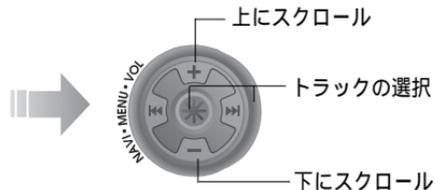
目 次

ナビゲーション

再生するトラック(曲)へのナビゲート

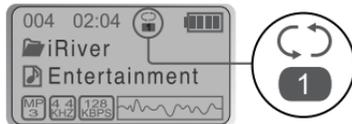
曲の選択は、「NAVI/MENU」ボタンを押してから、「VOL +」または「VOL -」スイッチを使用して行います。

1 「NAVI/MENU」ボタン

2

3 フォルダを選択するか上のフォルダにスクロールします。

4 トラックを選択します。

ファイル形式

A ▷ ASF	W ▷ WMA	I ▷ IRM
O ▷ OGG	M ▷ MP3	

モード[再生モード]

リピートおよびシャッフル再生の各種オプションは、[Mode]で選択して設定します。[Repeat(リピート)]モードと[Shuffle(シャッフル再生)」モードを切り替えるには、「MODE」ボタンを押します。ユーザー設定については、モードの詳細設定（5-24ページ）を参照してください。

▲「MODE/REC」ボタンを押すと、再生モード表示のアイコンが変わります。

リピート

1	1つのトラックをリピート再生します。
D	フォルダの中のすべてのトラックを再生して停止します。
D	フォルダの中のすべてのトラックをリピート再生します。
A	プレーヤの中のすべてのトラックをリピート再生します。

シャッフル再生

SFL	プレーヤの中のすべてのトラックをランダム再生し停止します。
SFL 1	1つのトラックをランダム再生します。
SFL D	フォルダの中のすべてのトラックをランダム再生し停止します
SFL DA	フォルダの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。
SFL A	プレーヤの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。

イントロ

I	**INTRO：**各トラックの最初の10秒を順番に再生します。 **INTRO HIGHLIGHT：**各トラックの1分からの10秒間を順番に再生します。「メニュー」でこの機能を設定できます。（5-25ページを参照してください）

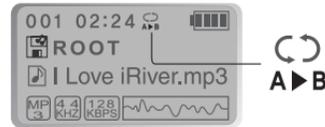
インターバルリピート[A-B]

選択したインターバルがリピート再生されます。

再生中にボタンを一度押して開始<A>ポイントを選択します。

もう一度ボタンを押して終了<B>ポイントを選択します。

A▶

A▶B

▲ A-Bインターバルがリピート再生されます。

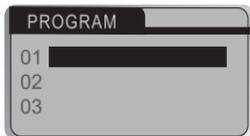
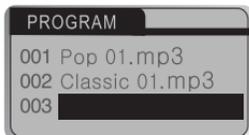
プログラムモードの起動

お好みの曲をプログラムモードで聞くことができます。

1 再生を停止して「MEMORY/EQ」ボタンをクリックします。
プログラムリストが表示されます。すでにプレーヤにプログラムが設定されている場合は、プログラムリストにその内容が表示されます。

▼ プログラムモードにスクロール

クリック
MEMORY/EQ

PROGRAM
01
02
03

2 「VOL +/VOL -」スイッチを押して、プログラム先の番号を選択します。

プログラムモードの起動

3 「NAVI/MENU」ボタンを1回押し、お好みのトラックにナビゲートしてから、もう一度「NAVI/MENU」ボタンを押して、そのトラックをプログラムリストに保存します。

4 「MEMORY/EQ」ボタンを押してプログラムリストを保存します。

● フォルダ内のすべてのファイルをプログラムリストに保存するには
保存するフォルダを選択し、「MEMORY/EQ」ボタンを押すと、そのフォルダ内のすべてのファイルが保存されます。

プログラム再生

「PLAY/STOP」ボタンを押すと、プログラムしたトラックが順番に再生されます。

プログラムモードのアイコンが表示されます。

プログラムリストのファイルを削除するには

削除するファイルを「MEMORY/EQ」ボタンで選択してから「MODE/REC」ボタンを押します。プログラムリストが自動的に変更されます。

プログラムした曲をすべて削除するには、「MEMORY/EQ」ボタンを数秒間押します。

プログラムモードの取り消し

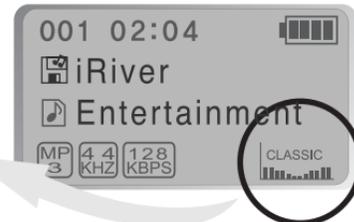
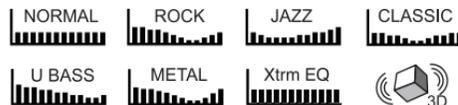
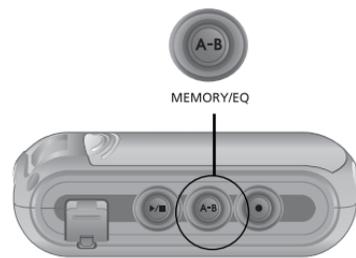
停止モードで、「NAVI/MENU」ボタンの「VOL -」側を押します。
プログラム再生が取り消され、通常の再生が開始されます。

停止モード

EQモード

再生する音楽ジャンルに応じたEQモードを選択できます。

「MEMORY/EQ」ボタンをまず長押しして現在のEQ設定を表示し、次に繰り返し押して別のEQを選択します。

NORMAL ROCK JAZZ CLASSIC
U BASS METAL Xtrm EQ 3D

Xtrm EQおよび3Dは[MENU]で設定します。詳細は5-27～5-29ページを参照してください。

注意

お好みのEQを[EQ SELECT]メニューの設定値に選択することもできます。
メニューに設定した値は保存されますが、Xtreme EQおよびXtreme 3Dを選択しない場合、EQモードは変更されません。

便利な機能

構成

各機能はファームウェアのバージョンによって異なる場合があります。
また、ユーザー独自の設定を構成することができます。

GENERAL
- resume
- language
- load default

DISPLAY
- back light
- lcd contrast
- visualization
- scroll speed
- tag information
- play time information
- battery select

TIMER
- sleep Power Off
- stop Power Off
- set Time
- alarm/Record Select
- set Alarm
- tuner Rec. Reservation

CONTROL
- fast skip
- scan speed
- voice recording mode
- voice auto detection
- tuner recording mode
- line-in recording mode
- line-in recording volume
- line-in auto-sync
- line-in/ext. mic

MODE
- repeat
- shuffle
- intro
- study
- name

SOUND
- Xtreme EQ
- Xtreme 3D
  - DBE setting
  - 3D EQ setting
- sound balance
- eq limit
- eq select
- beep volume
- fade in

基本操作

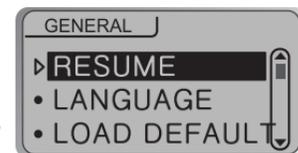
- 「NAVI/MENU」ボタンを長押しすると、メニューが表示されます。
- メニューは､6つのメインメニューと､それぞれのサブメニューから構成されています。

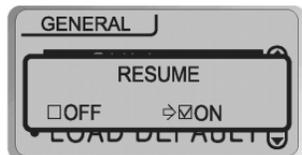
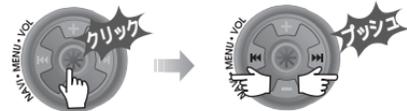
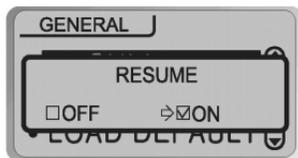
▼ メインメニュー　▼ サブメニュー　▼ サブメニュー設定ウィンドウ

メインメニューを選択するには

- **メニュー間の移動**

  メインメニューとサブメニューとの間を移動するには、⏮ スイッチまたは ⏭ スイッチを押します。

- **メインメニューからサブメニューへ**

サブメニューを選択するには

● サブメニューに入ります。

サブメニューの設定、取り消し、および変更を行うには、「NAVI/MENU」スイッチを、⏮、⏭、VOL +、VOL -のいずれかの側に押します。

サブメニューの終了

サブメニュー設定時に「PLAY/STOP」ボタンをクリックすると、メインメニューに戻ります。

メインメニューの終了

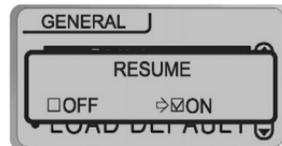
「PLAY/STOP」ボタンをクリックすると、メインメニューが終了します。

便利な機能

GENERAL

Resume

ON：プレーヤの停止または電源切断時の場所から曲の再生が再開されます。

OFF：プレーヤの停止または電源切断後は最初のトラックから再生が開始されます。

LANGUAGE（40言語をサポート）

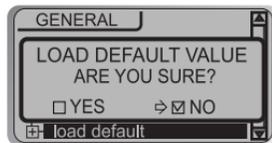
● 40種類の言語に対応

MP3ファイルの曲名情報およびID3タグ情報は、これらの作成に使用したPCのOSのバージョンによって異なります。(たとえば、日本語バージョンのWindowsで作成したMP3ファイルの曲名を正しく表示するには、言語設定を[Japanese]にします)

便利な機能

Load Default Value

メニューが出荷時の設定に初期化されます。
次の順序でボタンを押します。

「NAVI/MENU」をクリック（デフォルトメニューの選択）
→「⏮」または「VOL +」をクリック（[YES]を選択）→
「NAVI/MENU」をクリック（[YES]を選択：初期化）

Display

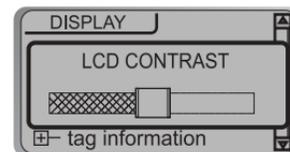
Back-Light

バックライトが点灯している時間を調整できます。
SEC：バックライトの点灯秒数(0～30)
MINUTE：バックライトの点灯分数(0～30)

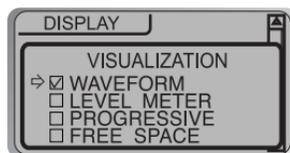
「NAVI/MENU」ボタンを押してSEC/MINUTEを選択します。

LCD Contrast

LCD画面のコントラストを調整します。

コントラストを調整するには、⏮または⏭(VOL +またはVOL -)ボタンを使用します。

Visualization

再生中に各種ビジュアル機能、トラックの経過時間、およびプレーヤの空きメモリを表示できます。

WAVEFORM ▶
LEVEL METER ▶
PROGRESSIVE ▶ 65%
FREE SPACE ▶ 30M
CLOCK ▶ HH:MM AM/PM

Scroll Speed

タグのスクロールを、Vertical(垂直)/Horizontal(水平)ごとに1倍/2倍/4倍の速度に調整できます。

Vertical(垂直)：上下にスクロールします。
Horizontal(水平)：左から右へスクロールします。

Tag Information

ON：トラックのID3タグ情報を表示します。
OFF：トラックのファイル名を表示します。

※ID3情報が付加されていない曲では、デフォルトでファイル名が表示されます。

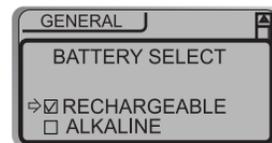
Playtime Information

Normal(ノーマル)：経過時間を表示します。
Remain(残り)：残り時間を示します。

注意：可変ビットレート形式でエンコードされたファイルの時間表示は正確でない場合があります。

BATTERY SELECT

使用中の電池を選択します。

電池残量アイコンの表示に、使用レベルがより正確に反映されるようになります。

Timer

Sleep Power Off

(電源がオフになるまでの時間は、1～180分の範囲内で1分単位で設定できます。)

|◀◀ または ▶▶| (VOL +またはVOL -)ボタンで時間を調整します。
「NAVI/MENU」ボタンを押すと、BEEP ON/ OFFを設定できます。

TIMER
SLEEP POWER OFF(MIN)
☑OFF ☐ON
0
BEEP ☐OFF ☑ON

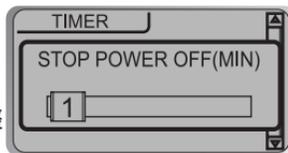
Beep

ON：プレーヤがオフになる1分前に警告音が鳴ります。
OFF：警告音は鳴りません。

▷ いったん電源がオフになると、スリープタイマーが0にリセットされます。

Stop Power Off

停止モードのときに電源が自動的にオフになります。
(電源がオフになるまでの時間は、1～60分の範囲内で1分単位で設定できます。)

|◀◀または▶▶| (VOL +またはVOL -)ボタンで時間を調整します。

Set Time

現在の時間を設定します。
「NAVI/MENU」スイッチの |◀◀ 側または ▶▶| 側を押して項目を選択し、VOL +側またはVOL -側を押して数値を設定します。
|◀◀ スイッチまたは ▶▶| スイッチで時間を調整します。

SET TIME
2004 / 12 / 00
12 : 00 AM

Alarm/Record Select

OFF：ALARM(アラーム)機能およびTUNER RECORD(チューナー録音)機能が無効になり、それぞれで指定した時間になってもプレーヤの電源はオンになりません。
ALARM：[Set Alarm]設定(下記参照)で指定された時間に、プレーヤの電源がオンになり、音楽の再生が開始されます。
TUNER RECORD：[Tuner Rec. Reservation]設定(5-19ページ参照)で指定された時間に、プレーヤの電源がオンになり、選択した放送局の録音が開始されます。

ALARM/RECORD SELECT
☑ OFF
☐ ALARM
☐ TUNER RECORD

Set Alarm

アラームの作動時刻を設定します。
「NAVI/MENU」スイッチの |◀◀ 側または ▶▶| 側を押して項目を選択し、VOL +側またはVOL -側を押して数値を設定します。
SUN - SAT：設定した曜日の毎回同じ時刻にアラームが鳴ります。
ALL：毎日、設定した時刻になるとアラームが鳴ります。

Tuner Rec. Reservation

録音する放送局と時刻を設定します。
「NAVI/MENU」スイッチの ⏮ 側または ⏭ 側を押して項目を選択し、VOL +側またはVOL -側を押して数値を設定します。

SUN - SAT：設定した曜日の毎回同じ時刻にチューナー録音が開始されます。
ALL：毎日、設定した時刻になるとチューナー録音が開始されます。

Control

Fast Skip

OFF：スキップが機能しません。
10：一度に10トラックスキップします。
DIRECTORY：前または次のフォルダにスキップします。

この設定により、 ⏮レバーおよび ⏭レバーのクリックと長押しとの関係が定義されます。

FF/RW Scan Speed

高速スキャンの速度を、1倍/2倍/4倍/6倍の中から選択できます。

Voice Recording Mode

音声を録音するときの音声品質を調整できます。
ビットレート：8Kbps～160Kbps
サンプリング周波数：11.025KHz～44.1KHz

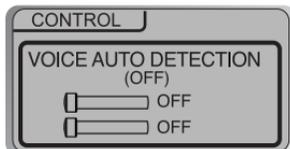
AGC ON： 音声録音のレベルが自動的に制御され、遠く離れた場所の音も自然に録音されます。
AGC OFF： AGC制御が作動しません。

注 意 AGC：Automatic Gain Control
(自動入力制御機能)

Voice Auto Detection

音声録音モードは、無音状態になると自動的に一時停止します。これは、長時間にわたる録音の場合にメモリの節約になります。

CONTROL
VOICE AUTO DETECTION
(OFF)
OFF
OFF

OFF：Voice Auto Detection(音声自動検出機能)が無効になります。
Voice Auto Detection(上のスライダー)：録音の開始に足る音の相対レベル(1～10)を設定します。
Record pause time(下のスライダー)：録音が一時停止に至るまでの無音状態の秒数(1～10)を設定します。

TUNER RECORDING MODE

FMチューナーから録音するときの録音品質を調整できます。
ビットレート：8Kbps～320Kbps
サンプリング周波数：11.025KHz～44.1KHz

LINE-IN RECORDING MODE

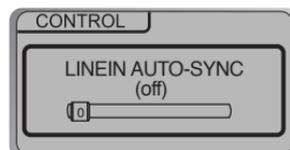
外部機器から録音するときの録音品質を調整できます。
ビットレート：8Kbps～320Kbps
サンプリング周波数：11.025KHz～44.1KHz

LINE-IN RECORD VOLUME

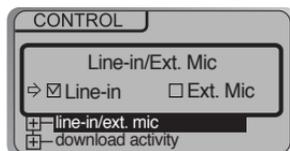
外部機器から録音するときの録音レベルを調整できます。
(設定可能範囲は0～64です。)

LINE-IN AUTO-SYNC

ライン入力：CD上の各トラックごとに新しいファイルが自動的に作成されます。
- OFF：オーディオ信号検出機能が無効になります。
- オーディオ信号検出時間（1～5秒）：トラックの終了時点を判別したり新しいファイルを開始したりする際にプレーヤが使用する無音状態の継続時間。

便利な機能

Line-in/Ext. Mic

録音時に外部マイクかライン入力を選択できます。
Line-In：ライン入力による録音
Ext. Mic：外部マイクによる録音

- 外部マイクから録音するには、[LINE-IN]録音モードを選択します(4-20ページ参照)。
- 録音品質レベルは、[LINE-IN RECORDING MODE]で選択した値に設定されます(5-22ページ参照)。

Playback Mode

Repeat Mode/ Shuffle Mode

リピートとシャッフルのモードの詳細設定ができます。「MODE」ボタンを押していずれかのモードを選択します(両方の選択も可能です。詳細は5-3ページおよび5-4ページを参照してください。

▼ 選択方法

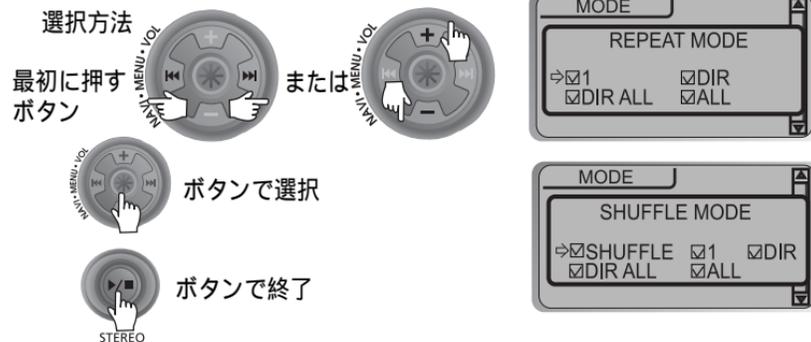
最初に押すボタン

または

MODE
REPEAT MODE
☑1 ☑DIR
☑DIR ALL ☑ALL

ボタンで選択

MODE
SHUFFLE MODE
☑SHUFFLE ☑1 ☑DIR
☑DIR ALL ☑ALL

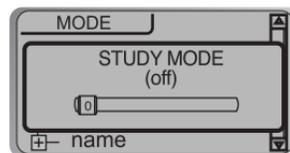
ボタンで終了

▷「MODE/REC」ボタンを押したときは、選択した再生モードだけが使用できます。(詳細は5-3～5-4ページを参照してください)

Intro Mode

Intro：各トラックの最初の10秒を順番に再生します。

Intro Highlight：各トラックの1分からの10秒を順番に再生します。

STUDY MODE

再生中に⏮ または ⏭(VOL +またはVOL -)レバーを少しスライドさせると、現在のトラックが設定された時間だけスキップされます。
OFF：Study Modeが無効になります。
1～60秒の範囲で設定します。

Name

ユーザーの名前やカスタムテキストを入力できます。再生が停止すると、保存されたテキストが表示されます。

▼ ボタン操作

再生を停止 ▷

⏮スイッチおよび ⏭スイッチで文字を選択し、「Navi/Menu」ボタンで文字を入力します。

[NAME]ウィンドウ内でカーソルを移動するには、「Volume」スイッチの+側または-側を押します。

英語をお好みの言語に変更するには、「MEMORY/EQ」ボタンでスクロールします。

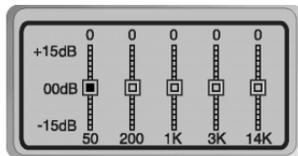
文字を削除するには、「MODE」ボタンを押します。

保存して終了します。

注 意 中国語および中国語文字は[Name]機能ではサポートされていません。

Sound

Xtreme EQ

サウンドをお好みに応じて調整できます。
5つの周波数帯域ステップがあり、-15dBから+15dBまで3dBごとに設定します。

●Xtreme EQの設定方法

1. スイッチ ⏮ または ⏭ スイッチで、設定する周波数ステップを選択します。

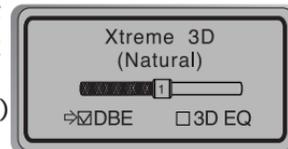
周波数を選択

2. 「VOL +」スイッチまたは「VOL -」スイッチでレベルを調整します。

レベルを調整

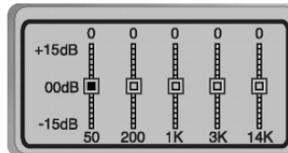
3. Xtreme EQ設定を終了するには

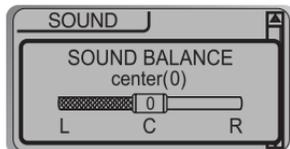
Xtreme 3D

3Dサウンドのレベル（Minimum、NaturalおよびMaximum）を調整できます。Bass Boostまたは3D EQを選択して、3Dサウンドを拡張できます。「⏮」または「⏭」(「VOL +」または「VOL -」)レバーで、3Dサウンドのレベルを調整することもできます。DBEと3D EQの選択には、「Navi/Menu」ボタンを使用します。

DBE Setting

Bass Center Bandレベル（帯域1～4）を選択できます。また、Bass Boostゲイン（3dBごとに0 dBから15dBまで）も設定できます。
DBE(Dynamic Bass Enhancement)はXtreme 3Dの使用時に機能し、中低域の周波数を強調します。

3D EQ Setting

3D EQを使用するには、EQを[Xtreme EQ]に設定します。
サウンドをお好みに応じて調整できます。
5つの周波数帯域ステップがあり、-15dBから+15dBまで3dBごとに設定します。

Sound Balance

サウンドは、お好みに応じて右、左、中央にバランスを取ることができます。[Sound Balance]バーを[L](左、20)に寄せると、サウンドがイヤフォンの左側から出力されます。[Sound Balance]バーを[R](右、20)に寄せると、サウンドがイヤフォンの右側から出力されます。デフォルト設定は0で、サウンドがイヤフォンの両方から同じレベルで出力されます。

EQ Limit

ON：イコライザ周波数の制御を制限し音声の歪みを防止します。
OFF：オリジナルサウンドをお楽しみいただけますが、サウンドに歪みが生じることがあります。

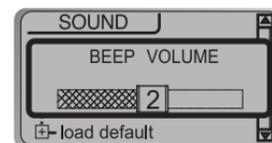
EQ Select

各種EQモードを選択できます。
「⏮」または「⏭」(「VOL +」または「VOL -」)スイッチでEQを選択し、「NAVI/MENU」ボタンを押します。

注 意

[NORMAL EQ]は選択できません。
[Xtrm EQ]モードおよび[Xtrm 3D]モードは、ここで選択しないと、再生時に使用できません。

Beep Volume

警告音のオン/オフと、オンの場合のレベルを設定します。
オフにするには[0]にします。

Sound Fade in

オンにしておくと、再生モードの音量が徐々に大きくなるため、突然の大音量発生を防ぐことができます。

目次

下記の症状について確認ができても、問題が解決しないようであれば、iriverの販売店にお尋ねになるか、www.iriver.co.jpのサポートにお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	● プレーヤの「HOLD」スイッチが「ON」になっていないかどうか確認してください(位置を「OFF」に切り替えます)。 ● 電池の状態を確認してください。新しい電池を入れてください。
イヤフォンから音が出ない	● [VOLUME]が[0]に設定されていないかどうか確認してください。 ● イヤフォンのプラグを確実に接続してください。 ● プラグが汚れていないかどうか確認してください。乾いた柔らかい布でプラグを拭いてください。 ● MP3ファイルまたはWMAファイルが破損していると、雑音が聞こえたり、音が途切れる場合があります。PCで問題のファイルを聞いて、破損していないかどうか確認してください。
LCD画面の文字が文字化けしている	● [Menu]→[General]→[Language]で、正しい言語が選択されているかどうか確認してください(ページ5-12を参照)。
FMがクリアに受信されない	● プレーヤおよびイヤフォンの位置を調整してください。プレーヤの近くにある電気機器の電源をオフにしてください。 ● イヤフォンコードはアンテナの役割を果たしているため、接続しないと最適な受信状態が得られません。
MP3ファイルのダウンロードができない	● 電池の状態を確認してください。 ● コンピュータとプレーヤが、確実にケーブル接続されているかどうか確認してください。 ● Managerプログラムが確実に動作しているかどうか確認してください。 ● プレーヤのメモリが一杯でないかどうか確認してください。

安全について

- **プレーヤを落としたり、衝撃を加えたりしないでください。**
  プレーヤは歩いたり走りながら使用することを前提に設計されていますが、落としたり、過大な衝撃を加えたりすると、破損する場合があります。
- **プレーヤに水をかけないでください。**
  水がかかると内部の部品が損傷する場合があります。濡れた場合は、ただちに柔らかい布で表面を拭いてください。
- **プレーヤを熱源の近くや、直射日光の当たる場所に放置しないでください。また、ほこり、砂、湿気、雨、および本体に対する衝撃量が極端に大きい場所や、凹凸のある場所のほか、窓を閉め切った車内に放置することも避けてください。**
- **プレーヤを長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。**
  電池を長期間プレーヤの中に入れたままにしておくと、液漏れが発生し、部品に損傷を与える場合があります。
- **本製品に極端な衝撃が加わったり、落雷や停電が発生した場合、内部に格納されたデータがすべて消去される場合があります。**
  極端な衝撃が加わったことや、落雷や停電によって生じた本製品の破損および内部の格納データなどの消失については、弊社では一切補償もせず責任も負いません。本製品に格納するデータの保護対策は、ご使用になる方が行ってください。

ヘッドホンおよびイヤフォンについて

- **路上での安全確保について**
  ヘッドホン/イヤフォンを使用しながら、車などを運転したり自転車に乗らないでください。地域によっては違法となるばかりでなく、交通事故が発生する可能性があります。大きい音量で再生しながら、横断歩道などを歩くことにも危険が伴います。危険を伴う場所では、細心の注意を払うか、使用自体を止めてください。
- **聴覚障害を防止するには**
  大きい音量でヘッドホン/イヤフォンを使用することは避けてください。聴覚の専門家からは、大きな音量での長時間の再生は避けるべきであるという意見が出されています。、耳鳴りがしたら、音量を下げるか使用を止めてください。
- **公衆マナーについて**
  適度な音量を保つようにすれば、外部の音に反応できるだけでなく、周りの人に対するマナーにもなります。

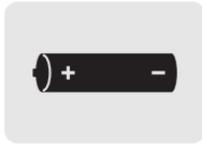
付属品

1 イヤフォン/イヤフォンカバー

2 USB ケーブル

3 インストールCD

4 取扱説明書/保証カード クイックスタートガイド

5 電池(単三型x1)

6 装着用ネックストラップ

7 キャリングケース

8 アームバンド

9 オーディオケーブル (ライン入力)

※ 付属品の外観は、予告なく変更される場合があります。

仕様

メモリ※	128MB	256MB	512MB	1GB
モデルNo	iFP-880	iFP-890	iFP-895	iFP-899
USBバージョン	1.1(フルスピード)	2.0(ハイスピード)	2.0(ハイスピード)	2.0(ハイスピード)

※1MB=1,000,000Bytes、1GB=1,000MB
メモリの一部をシステム領域として使用しているため、メモリすべてを記憶領域として利用になれません。
メモリの増設はできません。

分 類	項 目	仕 様
FM チューナー	FM周波数範囲	76.0 MHz ～ 108 MHz
	S/N比	60 dB
	アンテナ	ヘッドホン/イヤフォン兼用コードアンテナ
寸法		88.5(幅) x 36.2(奥行) x 27.3(高さ) mm
重量		40 g (電池含まず)
		65 g (電池含む)
電池		単三型アルカリ電池x1
音声	周波数範囲	20 Hz ～ 20 KHz
	ヘッドホン出力	(L)18 mW + (R)18 mW (16Ω) 最大音量時 (L)12 mW + (R)12 mW (32Ω) 最大音量時
	S/N比	90 dB(MP3)
対応 ファイル	ファイル形式	MPEG 1/2/2.5 Layer 3、WMA、OGG、ASF
	ビットレート	8 Kbps ～ 320 Kbps (OGG : 44.1 KHz、96kbps～225kbps)
	タグ情報	ID3 VI、ID3 V2 2.0、ID3 V2 3.0、ID 3 V2 4.0
エンコーディング		MPEG 1/2/2.5 Layer3
LCD		バックライト付4ラインフルグラフィック
言 語		40言語
音声録音		約36:00時間 (8kbps、128 MB) 約72:00時間 (8kbps、256 MB) 約144:00時間 (8kbps、512 MB) 約288.00時間 (8kbps、1 GB)
最大連続再生時間		約40時間 (128 kbps、MP3、Volume : 20、EQ Normal) 単三乾電池1本 (2400mAh)
動作温度		-5℃ ～ 40℃

1. 保証書の記入事項

本製品のパッケージには､保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より[購入日]と[販売店印]欄などの記入をお受けください。
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また､保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本取扱説明書のトラブルシューティング､ホームページのFAQをよくお読みいただき､それでも解決しない場合にはアイリバージャパン サポートセンターまでご相談ください。

アイリバージャパンサポートセンター
0120-266-551　E-mail: info@iriver.co.jp

受付時間：10:00～19:00(年末年始を除く毎日)

ホームページアドレス　http://www.iriver.co.jp

〒101-0052　東京都千代田区神田小川町2-2-8 天下堂ビル2F

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

<ご注意>

◎本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。◎本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。◎本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。◎イヤフォン使用時には、周囲の音が聞こえにくくなりますので、自転車や自動車などの乗り物を運転するときや、道路を横断するときなどは絶対にお使いにならないでください。また、音量を上げすぎて、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。◎本製品に関するお問い合わせ、サポート、およびカタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。◎記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

<商標について>

メモ